

ノー物音システム

《物音トークンが使えない環境下での遊び方マニュアル》Ver.1.0

■ 物音トークンが使えない環境 ■

トークンを積み上げて手番を決める『物音システム』は、ハコオンナをホラーゲームたらしめる根幹的要素であり、物音システムのないハコオンナをハコオンナと呼んでいかさえ微妙なほど重要な部分です。

なのですが、当初の想定より遥かに多くの方に手に取っていただいた結果、テーブルが不安定、極端に不器用な参加者がいる、ベットが崩しに来る等、このシステムを成立させられない環境下でも遊びたいのご要望を数多く頂きました。

物音システムの緊迫感、次のプレイヤーに思いを託す感覚等は、他のシステムでの実現は困難で、最初に提案をもらってからあーでもないこーでもないと試行錯誤を重ねてはや半年。ようやく、トークンを使わずそこそこ物音システムに近い感覚を形にできましたので、『ノー物音システム』としてここにお披露目いたします。

■ 追加で用意するもの ■

トランプの「♠の1」「♠の2」「♠の3」「♠の4」「♠の5」「ジョーカー」の計6枚（以下、トランプと記述）を別途用意してください。

■ 『準備』 ■

物音チップならびに物音トークンは使用しません。
かわりに、本来、物音チップと物音トークンを配置していたテーブル中央あたりに、よくシャッフルしたトランプを裏向きに3×2に並べます。
この状態を『初期配置』とします。



■ 『各訪問者の手番』 ■

手番の最初に訪問者はトランプのうち一枚を選択してその場にオモテにします。この結果、6枚のトランプのうちオモテになっているトランプの数字を合計した結果が10を超えなかった場合（合計10はセーフです）、自分の手番を行います。ジョーカーは0としてカウントします。

オモテになったトランプの合計が11かそれ以上になったら、その訪問者の手番は行われず『箱女の時間』が発生します。

『箱女の時間』が終了したら、再び『訪問者の時間』になります。トランプを初期配置に戻し、先程箱女の時間を発生させた訪問者から手番を行います。

【パスする場合】

自分の手番に、トランプをめくらないことも選択できます。この場合、その訪問者の手番は飛ばされ、次の訪問者に手番が移ります。トランプを一枚選択し、自分の手元に裏のまま置いて下さい。

手元に置いたトランプは、次にオモテになったトランプの合計が10を超えた時か、テーブル中央の裏向きのトランプが残り1枚になった時に、初期配置に戻します。なお、ジョーカーが既にオモテになっている場合、パスは行なえません。

【裏向きのトランプが残り1枚になった場合】

テーブル中央の裏向きのトランプが残り1枚になった場合、その手番の終了後に『箱女の時間』が発生します。この場合の『箱女の時間』発生後は、トランプを初期配置に戻し、最後にトランプを選択した訪問者の左隣の訪問者からトランプを引いていきます。

【各カードの記述について】

アイテムやチカラ等の効果で『トークンを積む』は『トランプを一枚オモテにする』、『トークンが倒れた』等は『合計が10を超えた』等と同義とします。

<突然の宣伝！>

『ノー物音システム』の素案を提案してくれた、サークル「嘴広卿」のみっきーさんが、ゲームマーケット2017春にデビュー作をリリース！！

twitter 『@sirhashibiro』は今から要チェック！！(´▽`)

太陽まで積み上げる
大冒険ゲーム
2017年春、登場

30-45分
3-5人
8歳~